

児童の主体的な活動を支えるインターネットの活用

上柴西小学校

1 単元名 これからの工業生産と環境 (第5学年 社会)

2 単元の目標

- ・工業生産と環境との関わりについて、それぞれのテーマにそって、資料やインターネットを活用して調べることができる。(資料活用、関心・意欲・態度)
- ・調べたことをもとに、これからの工業のあり方について、自分の願いを持つことができる。(思考・判断)

3 指導計画の概要(7時間扱い)

- (1) 学習内容の概要を知り、自分の調べたいテーマを決める。・・・1時間
- (2) テーマごとにグループを作り、グループ内で調べる項目を分担する。・・・1時間
- (3) 分担された内容について、インターネットや資料を使い、個人で調べる。・・・3時間
- (4) 個人で調べた内容をグループで検討してまとめる。・・・1時間
- (5) 各グループでまとめたことを発表する。・・・1時間

4 情報機器活用の意図・情報教育の視点

平成12年9月にWindows98を搭載した新しいコンピュータ20台が導入され、ほとんどの児童は、インターネットを初体験する事になった。マスコミや社会の情報から、インターネットは万能のようにもてはやされ、児童もインターネットを使えば何でもできると思っ

ているようだ。事前の児童へのアンケート(調査対象33人)では、インターネットの使用に

対して次のような結果が得られた。

(質問1) 社会の調べ学習でインターネットを使おうと思いますか。

はい 26人 いいえ 7人

「はい」の理由 (複数回答)

- ・情報がたくさん得られると思う 20人 ・すぐ調べられると思う 5人
- ・楽に調べられると思う 3人
- ・技術が身につくから、楽しそうだから、使い慣れているから 各1人

「いいえ」の理由(複数回答)

- ・本の方が楽だから 5人 ・難しそうだから 2人
- ・情報がなさそうだから、時間がかかるから、コンピュータが壊れると嫌だから 各1人

この結果をもとに、初めてインターネットを使うに当たって、「インターネットは万能ではないこと」「インターネットも資料の一部であること」「インターネットと他の資料を上手に使い分ける能力をつけること」「インターネットにも不便なことがあること」を理解させようと思い、今回の授業を試みた。

調べ学習カード 月 日	
今日のテーマ	
調べたこと・方法	
調べたこと	方法
わかったこと・感想	方法についての感想

授業では、左記のような調べ学習カードをもとに各自のテーマを調べさせた。調べ方もインターネットだけではなく、事前に図書室や市立図書館から集めたたくさんの本や資料集の中から、一番調べやすく内容が充実しているものを選択させた。調べた内容については、そのまま書き写して終わるのではなく、内容を吟味させ、必ず授業の終わりに、自分の言葉で要点をまとめさせた。また、その方法についても、毎時間感想を書かせ、本とインターネットとの比較をさせ、次時へつなげた。

5 実践の成果と今後の課題

学習を終えて、アンケートで次のような結果が得られた。

(質問2) 調べ学習にインターネットを使って良かったことはなんですか。

- ・たくさん詳しい情報が得られた 18人 ・わかりやすかった 4人
- ・インターネットを使うのが上手になった 3人 ・速く見つけれられた 3人
- ・プリントアウトができて便利だった、インターネットを使うのは楽しい 各1人

(質問3) 調べ学習にインターネットを使って困ったことはなんですか。

- ・探している情報が見つからなかった 11人 ・やり方が難しかった 8人
- ・接続してから待つ時間が長かった 5人 ・すぐにエラーが出て動かなくなった 4人
- ・情報があまりすぎて迷った、何も困らなかった 各1人

(質問4) 本で調べる方法の長所と短所はなんですか。

長所

- ・絵や写真などがあってわかりやすい 10人 ・探しやすい 5人
- ・情報がたくさん詰まっている 5人 ・手軽に調べられる 4人
- ・持ち運びに便利 2人
- ・みんなで見られる、速く調べられる、見やすい、いつでも使える、壊れない 各1人

短所

- ・目的の本を探すのが大変 17人 ・あまり詳しく書いてない 6人
- ・読みづらい 3人 ・関係ないことが書いてある 3人
- ・見つけている本が学校にない 2人 ・書き写すのが大変 1人

(質問5) インターネットで調べる方法の長所と短所なんですか。

長所

- ・情報がたくさんあって詳しい 12人 ・調べやすい 11人
- ・メールで情報交換できる 4人 ・わかりやすい 2人
- ・簡単にできる、楽しい、見やすい、プリントアウトできる 各1人

短所

- ・技術的に難しいところがある 11人 ・関係ない情報が出てくる 8人
- ・接続してから待つ時間が長い 7人 ・すぐエラーが出て動かなくなる 4人
- ・情報がたくさんありすぎる、目が疲れる、接続にお金がかかる 各1人

(質問6) これからどのようにインターネットを活用していこうと思いますか。

- ・本とインターネットのそれぞれの足りないところを補うような調べ方をしたい 21人
- ・必要な情報を選択し、要点をまとめるようにしたい 4人
- ・インターネットに頼りすぎない、もっとインターネットを使いたい 各1人

(質問7) 社会の学習以外にどんなことにインターネットを活用したいですか。

- ・他の教科や総合学習での調べ学習 26人 ・メールを使って質問や交流 5人
- ・調べたことをホームページにして発信 3人

これらの結果から、児童は、「インターネットも資料の一つである」「インターネットは万能ではない」「インターネットと資料を上手に使い分ける」ことを学習できたと思う。

また、困ったことの中で「情報がたくさんありすぎる」ということは、教師の側で情報を選択しておくことの必要性を強く感じた。

最後に、調べ学習だけにとどまらず、メールを使った交流や、自作ホームページでの情報の発信にも意欲を持っている児童がいることにこれからの新しい課題を見つけたように思う。それらの学習を通して、情報を発信する際のネットやインターネットの怖さ、著作権などについても理解させていきたいと思う。